

## 事業者団体調査(社団法人日本介護福祉士会)

質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等について、その名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
実施主体	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
日本介護福祉士会	全国大会	・社団法人日本介護福祉士会会員 ・社会福祉協議会、行政機関等の役職員 ・介護福祉士養成校、福祉関係の学生および教職員 ・福祉・保健、医療関係者、その他一般	記念講演、基調講演、特別講演、シンポジウム、分科会 等	1回	1カ所	11時間(2日)	1,000人	会員 3,000円 一般 10,000円	8,695,340円	-
	ブロック研修会	・社団法人日本介護福祉士会会員 ・社会福祉協議会、行政機関等の役職員 ・介護福祉士養成校、福祉関係の学生および教職員 ・福祉・保健、医療関係者、その他一般	記念講演、基調講演、シンポジウム、分科会 等	1回	5カ所	1回あたり 8~12時間(1~2日)	1,686人 (5ブロック合計)	会員 3,000円 一般 5,000円	16,155,635円	-
	初任者研修会	介護福祉士資格取得後2年未満の者	・介護福祉士の専門性と職業倫理 ・介護福祉士の法律と関連する制度政策 ・介護福祉士の仕事とコミュニケーション ・介護福祉士の基本的態度 ・介護福祉士のための介護技術 ・介護過程の展開 ・記録と報告 ・介護福祉士のための医学知識 ・福祉用具の意義と活用	47回	47カ所	21時間(3日)	1,410人	10,000円~20,000円	-	-
	介護福祉士実習指導者講習会	介護福祉士として3年以上実務に従事した経験のある者であって、実習施設において実習指導者となる者及び実習指導者を担っている者	・介護の基本 ・実習指導の理論と実際 ・介護過程の理論と指導方法 ・スーパービジョンの意義と活用及び学生理解 ・実習指導の方法と展開 ・実習指導における課題への対応 ・実習指導者に対する期待	92回	92カ所	25時間(4日)	4,767人	会員 20,000円 非会員 31,000円	160,957,634円	-
	(仮称)認定専門介護福祉士(認知症)養成研修	原則として、以下3項目全てを満たす者 ①5年以上高齢者介護の実務に就き、介護施設・認知症グループホーム・訪問介護事業所等で現在認知症ケアを実践している者 ②受講終了後に学びを活かした認知症介護の実践を行い、今後、支部活動におけるリーダー的役割を担うことのできる者 ③各支部より推薦を受けた者	①生活支援における『生活』の意味するところ、介護福祉士としての目指すべき認知症介護の基本理念についての理解を深める。 ②認知症高齢者の行動や心理について、相互交流の観点から関わる介護者側の行為の意味するところの理解に努めると共に、自ら持ち寄った事例等を基とした各種検討の積み重ねにより、認知症介護の実践的理解を深める。 ③自らの実践を言語化する力をつけると共に、介護福祉士固有の認知症介護の専門性について理解を深める。	2回	2カ所	33時間(5日)	56人	会員 50,000円 非会員 100,000円	2,848,300円	-
	リーダー研修会(初任者研修講師養成研修会)	以下の①及び②を満たす者、又は②及び③を満たす者とする。 ①介護福祉士資格取得後、現場経験(介護職、ケアマネジャー、相談業務、管理職、教育職)5年以上 ②支部推薦 ③その他、当該科目の担当に適任であると認められる者	・初任者研修の位置付け及び概要について ・各科目の目的とねらい及びシラバス作成のポイント ・模擬講義 等	1回	1カ所	13.5時間(2日)	100人	会員 10,000円 非会員 20,000円	1,335,812円	-
	リーダー研修会(ファーストステップ研修講師養成研修会)	以下の①及び②を満たす者、又は②及び③を満たす者とする。 ①介護福祉士資格取得後、現場経験(介護職、ケアマネジャー、相談業務、管理職、教育職)5年以上 ②支部推薦 ③その他、当該科目の担当に適任であると認められる者	・ファーストステップ研修の概要について ・ファーストステップ研修の実際 ・ケア領域教授のポイントについて ・連携領域教授のポイントについて ・運営管理基礎領域教授のポイントについて ・ファーストステップ研修講師として教授法を学ぶ 等	1回	1カ所	32時間(5日)	33人	50,000円	2,127,499円	-
	ファーストステップ研修	介護福祉士資格取得後、2~3年の実務経験をもつ者	・利用者の全人性、尊厳の実践的理解と展開 ・介護職の倫理の実践的理解と展開 ・コミュニケーション技術の応用的な展開 ・ケア場面の気づきと助言 ・家族や地域の支援力の活用と強化 ・職種間連携の実践的展開 ・観察・記録の的確性とチームケアへの展開 ・チームのまとめ役としてのリーダーシップ ・セーフティマネジメント ・問題解決のための思考法 ・介護職の健康・ストレスの管理 ・自職場の分析	15回	15カ所	200時間(13日)	363人	70,000円~80,000円	-	-
介護技術講習主任指導者講習会	社団法人日本介護福祉士会の会員であり、次の各号のいずれかに該当する者で、都道府県支部会長より推薦があった者 ア 指定養成施設等において社会福祉士介護福祉士学校養成施設指定規則(昭和62年厚生省令第50号)別表第4に定める専門科目を5年以上教授(指導)した経験を有する者 イ 介護福祉士の資格を得た後10年以上実務に従事した経験を有する者 ウ 厚生労働大臣がア及びイに掲げる者と同等以上の知識経験を有すると認められた者	・介護過程の展開 ・コミュニケーション技術 ・移動の介助等 ・排泄の着脱の介助 ・衣服の着脱の介助 ・食事の介助等 ・入浴の介助等 ・総合評価	1回	1カ所	14.5時間(2日)	48人	28,000円	-	-	

事業者団体調査(社団法人日本介護福祉士会)

質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等について、その名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
実施主体	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
日本介護福祉士会	介護技術講習指導者養成講習会	高等学校、旧制高等学校若しくは旧制高等女学校を卒業した者又はこれと同等の学力があると認められる者で、5年以上実務に従事した経験を有する者	・介護過程の展開 ・コミュニケーション技術 ・移動の介助等 ・排泄の着脱の介助 ・衣服の着脱の介助 ・食事の介助等 ・入浴の介助等 ・総合評価	6回	6力所	14時間(2日)	110人	10,000円～20,000円	-	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期にわたる研修では、事業所・施設等から理解を得にくいことや、連続した休みを取れないといった理由により参加者の確保が困難である。</li> <li>・大規模研修では、会場費用が高いため採算がとれない。</li> <li>・中央に出なくとも、地域において一定の質が保たれる研修を行うことが重要であり、そのために講師の養成や、研修ガイドラインの作成、教材開発等を充実させることが必要となる。</li> <li>・研修参加や資格取得に対するメリット(例えば介護報酬上の評価など)の向上が必要となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講料をできる限り安く設定する。</li> <li>・参加しやすい日程とする。</li> <li>・中央において講師養成研修を行うことにより、どの支部において研修を受講しても、一定の質が保たれるようにしている。</li> <li>・各研修における標準カリキュラムの策定や、テキスト等の教材開発を行い、各支部に提供している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修への参加にあたり、個人負担を軽減するため事業所・施設からの支援が必要。(代替職員の確保、研修受講料の補助等)また、これらについては、国からの支援も検討すべきである。</li> <li>・教育訓練給付金の活用や、新たな助成金を設けることによる支援。</li> <li>・事業所・施設などによる介護職員のキャリアアップの仕組み構築や、職員の能力開発を支援することへの理解。</li> </ul>

事業者団体調査(日本ホームヘルパー協会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等について、その名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
日本ホームヘルパー協会	日本ホームヘルパー協会指導者研修会	訪問介護事業所、協会各支部で指導的な役割を担っている者	<ul style="list-style-type: none"> <li>「要介護認定基準の変更のねらいについて」</li> <li>「介護人材確保対策について」</li> <li>「訪問介護員の専門性と人材開発」</li> </ul>	1回	1カ所	5時間(1日)	51人	2,000~5,000円	60,000円	-
	日本ホームヘルパー協会ブロック研修会	訪問介護員、サービス提供責任者、訪問介護業務関係者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>【埼玉県】</li> <li>・訪問介護における行政の課題 ・ディスカッション ホームヘルパーの声を聴く</li> <li>・認知症について(ホームヘルパーに求めるもの) ・ホームヘルパーの専門性</li> <li>・サービス提供責任者の役割の再認識 ・みんなで考えようホームヘルパーの処遇改善</li> <li>【山梨県】</li> <li>・ヘルパーの処遇改善と今後の動向 ・ヘルパーのストレスの現状</li> <li>・おむつの当て方講座</li> <li>・ヘルパーのメンタルヘルス ・ヘルパーの専門性とは…? ~みんなで考える専門性</li> <li>【福岡県北九州市】</li> <li>・物忘れと軽度認知障害(MCI)の違いについて</li> <li>・認知症高齢者の理解に基づいた生活のアセスメントと支援~求められる職業倫理・法令遵守・接遇~</li> <li>・精神障害者の理解と対応 ・僕の相棒、ヘルパー ・ストレスマネジメント</li> </ul>	3回	3カ所(埼玉県、山梨県、福岡県、北九州市)	9時間~11時間(2日)	340人	0~3,000円	1,500,000円	-
	ホームヘルパー中央研修会	訪問介護員、サービス提供責任者、訪問介護業務関係者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症ケアの実践発表と事例研究</li> <li>・「専門職として、ご利用者との距離のととり方」</li> <li>・「障害者自立支援法 今後の方向性について」</li> <li>・「ホームヘルパーの専門性を高めるために」</li> <li>・「サービス提供責任者としての業務管理と指導方法について」</li> <li>・「日本のホームヘルパーをどうする！」</li> </ul>	1回	1カ所	11時間(2日)	121人	0~3,000円	1,400,000円	-
	日本ホームヘルパー協会 出前講座	パート、登録で働く訪問介護員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルパー職を巡る今後の動向</li> <li>・専門職として知っておくべき知識と倫理 ~法令遵守と接遇マナーを通して~ (倫理及び法令遵守、訪問介護員の接遇マナー、利用者のプライバシー保護)</li> <li>・ヘルパーのリスクマネジメント ~事故の発生と再発防止、緊急時の対応を通して~ (事故の発生、再発防止、発生時等緊急時の対応)</li> <li>・認知症の理解とケア</li> </ul>	5回	5カ所	5時間(1日)	357人	0~2,000円	428,000円	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
<p>・平日昼間は、受講生が参加しにくい。土・日、夜間(就業後)に実施し参加者の確保に努めているが、参加する側からすると、休日を潰して参加するため、負担感は大きい。</p> <p>・当協会では、訪問介護員向けの現任研修を実施しているが、事業所の支援がなく、受講したくても、受講できないといった声を聞いている。</p>	<p>・当協会では、訪問介護員の多数を占める対象として、登録・パートヘルパー向けの出前講座に力を入れている。</p> <p>・各地域で訪問介護員の研修実績を有する団体と共催することで、各訪問介護事業所に低コストで広報を図ることができるため、受講料の引き下げに繋げることができた。</p>	<p>・研修の参加については、時間及び費用の面でヘルパー個人に負担が強いられるのではなく、事業所の理解が進み、事業所として参加を後押しする支援(代替人員の確保等人員面、金銭面)の枠組みが必要である。</p> <p>・また、事業所を支援する国、県、市町村の支援も必要である。</p>

事業者団体調査(UIゼンセン同盟日本介護クラフトユニオン)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等について、その名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業)	9 その他
UIゼンセン同盟 日本介護クラフトユニオン	ケアマネ受験対策講座(講義編)	組合員	・試験の出題傾向・合格基準 ・合格に向けての「効率のよい独学方法」「理解のポイント」など	4回	4カ所	6時間(1日)	100人	5,000円	600,000円	交通費自己負担
	ケアマネ受験対策講座(模擬試験編)	組合員	公開模擬試験の体験により、受験時間の配分、試験解放テクニックの確認。又、各自の弱点や見落とし点の確認を行う。	4回	4カ所	6時間(1日)	100人	5,000円	600,000円	交通費自己負担
	介護福祉士受験対策講座(講義編)	組合員	「重点確認講習会」 ・効率のよい学習方法の理解、介護技術分野の要点理解 ・制度を中心としたかかわり方、視点、判断基準の理解など、重点整理のポイント	4回	4カ所	6時間(1日)	100人	5,000円	600,000円	交通費自己負担
	介護福祉士受験対策講座(模擬試験編)	組合員	「模擬試験、解説講習」 ・受験時間の配分、補足講義と重点ポイントの確認 ・保健医療サービスの知識等、福祉サービスの知識、試験直前の受験学習ポイント	4回	4カ所	6時間(1日)	100人	5,000円	600,000円	交通費自己負担
	ステップアップ研修会	組合員	今さら聞けない常識・マナー	1回	1カ所	1.5時間	50人	0円	400,000円	・その他労働組合研修との組合せで行っている。 ・交通費や食事代、会場、講師料など全て含まれている。
	ステップアップ研修会	組合員	講演会「日々の健康の守りかた」～ストレス時代を生き抜くためには～(クリニック院長)	3回	3カ所	1.5時間	150人	0円	1,500,000円	・その他労働組合研修との組合せで行っている。 ・交通費や食事代、会場、講師料など全て含まれている。
	ステップアップ研修会	組合員	介護現場の接遇のスキルアップ(講義と実技トレーニング)	1回	1カ所	1.5時間	80人	0円	500,000円	・その他労働組合研修との組合せで行っている。 ・交通費や食事代、会場、講師料など全て含まれている。
	ステップアップ研修会	組合員	古武式介護(腰痛予防など)	10回	10カ所	2時間	800人	0円	5,000,000円	・その他労働組合研修との組合せで行っている。 ・交通費や食事代、会場、講師料など全て含まれている。
ステップアップ研修会	組合員	心とからだの健康づくり(腰痛予防、気功など…)	2回	2カ所	2時間	60人	0円	800,000円	・その他労働組合研修との組合せで行っている。 ・交通費や食事代、会場、講師料など全て含まれている。	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
・組合員を対象に開催しているが、物理的に開催場所がきめ細かく対応できていない。 ・又、費用面でも公平性(参加できない組合員に対して)の問題も残ってしまう。少なくとも全国県単位での開催が望まれる。	・開催場所の設定を、交通の便の良い所や、開催場所を移動するなどしている。 ・又、曜日の設定など、現場の職員と相談しながら、決めている。	・各自治体と共同開催など、各地(市町村単位)での研修開催 ・又、資格受験に関しては、試験回数を増やすなど、受験の機会に対しての支援、経費負担に対する支援など

事業者団体調査(全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等について、その名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所	6 時間数	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会	ライフサポートワークセミナー	管理者、計画作成担当者(ケアマネ)、介護職員、看護職員	1. 小規模多機能型居宅介護とは 2. ケアマネジメント論 3. 地域生活支援 4. チームケア 5. ライフサポートワークⅠ 6. ライフサポートワークⅡ 7. ライフサポートワークⅢ	5回	5カ所	12時間(2日)	250人	10,000円	3,500,000円	-
	認知症介護実践者研修	管理者、計画作成担当者(ケアマネ)、介護職員、看護職員	・認知症介護の振り返り ・認知症介護の理念「認知症の歴史・介護の変遷」 ・認知症高齢者の理解と生活の捉え方Ⅰ「生活の捉え方」 ・認知症高齢者の理解と生活の捉え方Ⅱ「家族の理解・高齢者との関係の理解」 ・認知症高齢者の理解と生活の捉え方Ⅲ「心理的理解」 ・認知症高齢者の理解と生活の捉え方Ⅳ「医学的理解」 ・認知症高齢者の理解と生活の捉え方Ⅴ「意志決定と権利擁護」「生活の質の保障とリスクマネジメント」 ・認知症高齢者の理解と生活の捉え方Ⅵ「認知症高齢者の理解に基づいた生活のアセスメントと支援」 ・認知症高齢者の理解と生活の捉え方Ⅶ「演習・ディスカッション」 ・認知症高齢者の生活支援と方法Ⅰ「人的環境と住居環境を考える」 ・認知症高齢者の生活支援と方法Ⅱ「生活支援の方法」 ・認知症高齢者の生活支援と方法Ⅲ「地域社会環境を考える」「生活環境を考える」 ・認知症高齢者の生活支援と方法Ⅳ「これからの認知症介護とは」	2回	2カ所	24.5時間(3日)	100人	40,000円 (一部30,000円、40,000円)	4,000,000円	-
	小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	管理者、計画作成担当者(ケアマネ)、介護職員、看護職員	・総論・小規模多機能ケアの視点Ⅰ「小規模多機能とは何か」 ・総論・小規模多機能ケアの視点Ⅱ「制度的理解」 ・ケアマネジメント論とチームケア「小規模多機能のケアマネジメント」「ケアマネジメント論」「チームケア」 ・パネルディスカッション「小規模多機能型居宅介護の実践」 ・小規模多機能のライフサポートワークⅠ「地域生活支援」 ・小規模多機能のライフサポートワークⅡ「居宅介護支援計画作成の実践」 ・小規模多機能のライフサポートワークⅢ「居宅介護支援計画作成の実践」	2回	2カ所	12.5時間(3日)	91人	20,000円 (一部5,000円)	2,000,000円	法定研修としての対象は、ケアマネジャーであるが、フォローアップとして上記対象者を含み実施。
みやぎ小規模多機能型居宅介護連絡会	小規模多機能型居宅介護ってなんだろう	小規模多機能型居宅介護職員、介護保険事業者、一般	小規模多機能型居宅介護についての講演・実践報告・パネルディスカッション	1回	6カ所	5時間(1日)	600人	500円	400,000円	-
	小規模多機能型居宅介護事業所職員研修会	小規模多機能型居宅介護職員	「その人を支えるということ～ひつじ雲の実践～」 講師：特定非営利活動法人 楽 理事長 柴田 範子	1回	1カ所	2時間	30人	0円	30,000円	-
	会員向け職員研修会	小規模多機能型居宅介護職員	「小規模多機能型居宅介護の実践発表」	1回	2カ所	2時間(1日)	300人	0円	3,000円	-
福井県小規模多機能型居宅介護事業所連絡協議会	介護従事者の集い	小規模多機能型居宅介護に従事する介護職員	①小規模多機能型居宅介護について ②グループディスカッション(日々の課題について) ③小規模多機能型居宅介護の事業所研究発表	1回	1カ所	3.5時間	35人	0円	10,395円	-
	介護職の小規模多機能型居宅介護の現場職員研修	小規模多機能型居宅介護に従事する介護職員	①小規模多機能ケアの視点 ②地域での暮らしを支える ③小規模多機能型居宅介護のチームのケア ④認知症ケアに携る者として ⑤小規模多機能型居宅介護のケアマネジメント	2回	2カ所	15時間	40人	0円	558,135円	-
	認知症の人と家族との連携	小規模多機能型居宅介護に従事する者、他	①認知症の人とみんなのサポートセンターの活動内容、活動を通じて	1回	1カ所	3時間	20人	0円	141,083円	-
	介護職員のための認知症の理解	小規模多機能型居宅介護に従事する者、他	①認知症の病態 ②認知症の検査方法について ③認知症の特徴について ④認知症の対応方法について	1回	1カ所	3時間	30人	0円	116,753円	-
大牟田市介護サービス事業者協議会 地域密着型サービス・介護予防事業研究会	大牟田市小規模多機能連絡会研修会	小規模多機能型居宅介護事業所職員	小規模多機能型居宅介護の向上のために 1)「ライフサポートワーク」とは 2)ライフサポートプランならびに介護記録の運用について	1回	1カ所	2時間(1日)	68人	0円	30,000円	-
	大牟田市小規模多機能型居宅介護実践事例発表会	小規模多機能型居宅介護事業所職員	小規模多機能型居宅介護の実践(4事例)を通して現場スタッフが遭遇する課題や問題の解決の糸口を探り、そして感動を交流します。 ○座長：大谷るみ子氏(グループホームふぁみりえ ホーム長) ○アドバイザー：川原秀夫氏(全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会代表) 他	1回	1カ所	2時間	96人	0円	86,000円	-
	霧島市と大牟田市の小規模多機能型居宅介護連絡会交流会	小規模多機能型居宅介護事業所職員	1)小規模多機能型居宅介護の事例発表・意見交換会・懇親会 2)事業活動・施設の視察	1回	1カ所	6時間(1泊2日)	25人	1,000円	30,000円	-

事業者団体調査(全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等について、その名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所	6 時間数	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
霧島市小規模多機能ホーム連絡会	小規模多機能居宅介護支援事業所人材育成事業	小規模多機能ホーム、グループホーム、認知症デイサービス、地域包括支援センター、市役所職員	○講演「認知症ケアの理念」、演習 ○講演「本人の望む暮らしを支える視点」、演習	4回	1カ所	8時間(2日)	137人	0円	326,300円	-
	介護なんでも110番解説研修	小規模多機能ホーム、グループホーム、認知症デイサービス、地域包括支援センター、特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、有料老人ホーム、市役所職員	○講演「相談援助基本的知識及び技術」、演習 ○講演「地域で暮らし続けるために」	2回	1カ所	4時間(2日)	72人	0円	200,995円	-
	大牟田市・霧島市小規模多機能ホーム連絡会交流会	小規模多機能型ホーム、地域包括支援センター、市役所職員	○事例発表	1回	1カ所	4.5時間	66人	0円	30,000円	-
	九州ブロック事業所連絡会	小規模多機能ホーム、地域包括支援センター、市役所	○事例発表	1回	1カ所	4.5時間	55人	0円	50,000円	-
久留米市介護福祉事業者協議会小規模多機能部会	バリデーション研修	認知症介護に関わるスタッフ	バリデーションを理解し、現場での実践につなげることを目的に、3回にわたり、バリデーションについて講義や演習を行った。	3回	1カ所	21時間(3日)	60人	0円	80,000円	-
	センター方式研修	介護に関わるスタッフ	センター方式について学び、各事業所での実践に結び付けることを目的に、センター方式の理解から、事例発表までを行った。	3回	1カ所	21時間(3日)	60人	2,000円	-	-
	レクリエーション研修	現場スタッフ	高齢者向けのレクリエーションの実演	1回	1カ所	2時間(1日)	27人	0円	10,000円	-
福岡市小規模多機能ケアネットワーク	介護保険制度改正についての説明、自治体との意見交換会	管理者ならびに現場職員	福岡市役所監査指導課より制度改正に関する説明意見交換会	1回	1カ所	2時間(1日)	30人	0円	0円	-
	介護職員同士で語り合おう!	現場職員	グループワークで日々を振り返り今後に活かす職員同士の仲間作り	1回	1カ所	2時間(1日)	40人	0円	0円	-
	ライフサポートワークセミナー	介護支援専門員、現場職員	ライフサポートワークについての理解を深める	1回	1カ所	11時間(2日)	30人	4,000円	177,500円	-
	自分たちの小規模多機能を知ろう!	管理者・現場職員	実践発表、グループワーク	1回	1カ所	2時間(1日)	30人	0円	0円	-
	社会福祉協議会と民生児童委員の役割	現場職員	社会福祉協議会の活動内容や課題、展望について 民生児童委員の活動内容や連携等について	1回	1カ所	2時間(1日)	30人	0円	3,500円	-
	霧島市、鹿児島市、宮崎市、久留米市、福岡市事業者連絡会交流会	管理者、現場職員	霧島市にて実践報告会 意見交換会 仲間作り	1回	1カ所	10時間(2日)	22人	25,000円	0円	-
	認知症の基礎理解	現場職員	認知症介護指導者より認知症についての講義	1回	1カ所	2時間(1日)	40人	0円	4000円	-
	事例検討会	現場職員	事例検討会 それぞれの事業所で抱えている問題	1回	1カ所	2時間(1日)	30人	0円	0円	-
	小規模多機能とは	現場職員	小規模多機能型居宅介護について理解を深める	1回	1カ所	2時間(1日)	40人	0円	0円	-
鹿児島市小規模多機能ホーム連絡会	鹿児島市小規模多機能ホーム連絡会	小規模多機能型居宅介護事業所のスタッフ	小規模多機能型居宅介護について、ケアマネジメントについて、認知症について、地域で継続して暮らし続けるために	9回	5カ所	45時間(10日)	100人	500円	80,000円	-
長崎市小規模多機能連絡会	長崎小規模連絡会 現場職員向け研修会	管理者、介護職員他	・認知症ケア、記録のとおり方、行事のあり方等現場職員にとって業務上抱えている課題をテーマにとりあげて行っている。	8回	1カ所	1回につき2時間	180人	0円	-	-

事業者団体調査(全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会)

実施主体	質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修講師の確保、確保費用</li> <li>・研修会の企画、運営に関する事務負担、費用負担が大きく、継続的に実施していくことが難しい</li> <li>・介護職員が個人負担で参加する場合の費用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症ケア、高齢者福祉など、介護福祉にかかわる基礎部分を取り上げ、興味関心を持てるような内容を心がけている。</li> <li>・介護職員を対象とした場合は、参加費を1,000円程度に抑えるなど、費用負担の軽減(H20年度)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より身近な地域での開催(都道府県単位) <ul style="list-style-type: none"> <li>→ ブロック単位での開催は実現</li> </ul> </li> <li>・公的な研修に参加する場合は、事業所を不在にしても、研修参加時間を常勤換算し、減算や指導対象としないことを国が明確化する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 通常の勤務時間に研修参加時間を含めた介護職員の配置基準を介護報酬とする。</li> </ul> </li> </ul>
みやぎ小規模多機能型居宅介護連絡会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営資金の確保をどうするか。</li> <li>・講師謝金、旅費、会場費、通信費等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間を19:00からなどに設定し、日勤が終わってからでも参加できるようにしている。</li> <li>・介護職員の懇親会を設定して、介護職員同士が交流して顔見知りになり研修会に参加しやすくなるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修費の支援</li> <li>・介護職員の給与アップ</li> <li>・研修に参加した場合のキャリア</li> </ul>
福井県小規模多機能型居宅介護事業所連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師の手配等(連絡調整等に非常に時間がかかる場合がある)</li> <li>・研修準備(どの事業所も毎日忙しく少人数で準備を行っている)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ事前に研修案内を通知し勤務上の配慮ができるように</li> <li>・参加し易い時間、場所に研修を開催する(平日午後が参加し易い、各事業所からの中間地点)</li> <li>・可能なら、同じ研修を複数行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人員に余裕がないなかで限られた職員が研修に参加できるという状態。この人員に関して何かあれば…</li> <li>・研修参加費、交通費等が個人持の場合が多く、また個人の休みを利用して研修に参加している状態が多いと思う。これについては事業所内の課題だと思いますが改善されれば研修に参加し易い環境になるのではと思う。</li> </ul>
大牟田市介護サービス事業者協議会 地域密着型サービス・介護予防事業研究会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1)年間研修計画を実施するための体制づくり 現在、世話人会のみで企画しているが、研修部等を設置し、内容の充実を図る。</li> <li>2)研修参加率を高める。現在、前事業所の約3割の職員が参加。研修内容の記録を行い全職員に伝達して、参加意欲を高める。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1)研修内容を速くとも1ヶ月前に広報し、参加集約を行う。</li> <li>2)現場職員の理解を考慮して研修内容と運営を設定。</li> <li>3)他事業所の職員同士が気軽に交流しあえるよう研修会とは別に懇親会を開催する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修の機会を増やすために、講師や指導者紹介、助成制度の支援【希望する講師や指導の内容】</li> <li>認知症、認知症ケア、認知症ケアマネジメント(ライフサポートワーク)、センター方式の活用法、虐待防止と人権擁護</li> </ul>
森島市小規模多機能ホーム連絡会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日中の研修会開催であれば、業務があるため、参加できるスタッフが少ない。</li> <li>○有名講師をお招きすることは、スタッフの研修参加意欲を掻きたてることにつながるため、多くの機会を作りたいが、講師の旅費や謝金等の負担が連絡会の予算だけでは支出が難しい。したがって、県や市等の補助事業等を活用することが大切だと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現場スタッフ全員が参加できる機会を作るため、2名の講師に来て頂き、それぞれ午後、夜間の部の研修を実施してもらい、合計4回の研修を実施した。結果として市内の事業所、全スタッフが研修に参加できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各事業所の経営者に内部研修だけでなく、外部研修の必要性を理解してもらおう。</li> <li>○日中の1回の研修の場合、少しでもスタッフに参加させる場合のことを考え、スタッフを基準より多く配置しておく。</li> <li>○事業所の金銭的負担を軽減するため、研修参加費は無料、または低額な参加費を設定する。</li> </ul>
久留米市介護福祉事業者協議会小規模多機能部会	<p>日時や時間設定によっては、人数が集まらないことも多く、連続したものや、多人数必要なものは困難を極める。特に、複数回の研修になると同じ職員がずっと参加して行くことが難しく、内容が深まらなかったりする。</p>	<p>時間外、夜間に設定することが多い。</p>	<p>参加したいと思われるように内容にも工夫が必要だが、十分に研修内容を深めるためにも、勤務で研修に行けるような人員体制が必要だと思う。</p>
福岡市小規模多機能ケアネットワーク	<p>講師謝礼等の金銭面での課題がある。加盟事業所は年会費を支払いそれをもとに研修を行っている。補助金等の助成があればありがたい。</p>	<p>毎月開催とし、多くの職員が参加できるように偶数月は昼間、奇数月は夜間に研修を行っている。 現場の職員同士が顔と顔でつながり仲間意識が芽生えるように心がけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○手厚い人員配置</li> <li>○研修の中身の充実(魅力)</li> <li>○明るく前向きになれる集い</li> </ul>
鹿児島市小規模多機能ホーム連絡会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修に参加できる時間の確保が出来ない。</li> <li>・決まった人が受講して、現場スタッフ全ての受講が出来ない。</li> <li>・予算がない。</li> <li>・保険者からの協力がもたれない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ内容を複数時間帯で設定。</li> <li>・事業所への押しかけ研修会の開催。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営者の理解。</li> <li>・現場の人員の確保。</li> <li>・参加しやすい研修会のあり方の研究。</li> <li>・研修会の資金の助成。</li> </ul>
長崎市小規模多機能連絡会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的な研修を開催したいが、講師代等経費が必要となる。参加費を徴収すると、事業者や職員に負担がかかる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場職員向けの研修会を開催する際は、参加しやすいように昼間だけではなく、夜に開催している。</li> <li>・参加費をなるべくとらなくていいような研修会にしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職員が参加費を負担しなくていいような形で研修会の開催。</li> <li>・職員が研修に参加しやすいようにするために、各事業所が安定した職員配置を行い、勤務態勢への配慮をする。</li> <li>・介護報酬の基本単価の見直し。</li> <li>・自治体との連携による介護職員の研修機会の確保。</li> </ul>

事業者団体調査(一般社団法人日本在宅介護協会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等について、その名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	9 費用(総事業費)	9 その他
一般社団法人 日本在宅介護協会	第二回制度改正セミナー	経営者・管理者・介護職員	①介護保険法及び老人福祉法の一部改正の理解と交付金 ②介護事業者として整備すべき法令遵守規定の実際とポイント ③事業所管理者に必要な労務管理の知識	9回	9カ所	27時間(9日)	300人	3,000~7,000円	2,525,325円	正会員・準会員3,000円、賛同会員・支部会員4,000円、協賛団体会員6,000円、一般7,000円
	職業能力評価・業務管理体制整備チェック・キャリアパスについて	経営者・管理者・介護職員	業務管理体制整備チェック、キャリアパスの事例	5回	5カ所	25時間(5日)	250人	無料	1,400,000円	-
	職場で活き活きと働くためのメンタルヘルス対策	経営者・管理者・介護職員	午前:労働安全整備、健康メンタル管理 午後:メンタルヘルスの基礎知識、ストレス対処法	5回	5カ所	27.5時間(5日)	500人	無料	5,794,000円	-
	事業者としてのケアマネージャーの連携	経営者・管理者・介護職員	有識者3名を迎えてのパネルディスカッション等	1回	1カ所	3時間(1日)	250人	1,000~2,000円	300,000円	会員1,000円 一般2,000円
	介護事業の今後の課題	経営者・管理者・介護職員	日本在宅介護協会・研修広報部による講演	2回	2カ所	2時間(1日)	80人	1,000~2,000円	300,000円	会員1,000円 一般2,000円
	適切な介護サービスに向けて	経営者・管理者・介護職員	神奈川県保健福祉部高齢福祉課および横浜市保健福祉局高齢健康福祉部より担当官を迎え講演	1回	1カ所	3時間(1日)	80人	1,000~2,000円	30,000円	会員1,000円 一般2,000円
	新型インフルエンザの現状と対策	経営者・管理者・介護職員	サラヤ株式会社研究員の講義	1回	1カ所	2時間(1日)	80人	1,000~2,000円	100,000円	会員1,000円 一般2,000円
	通所介護研究	経営者・管理者・介護職員	事業者・有識者を交えてのパネルディスカッション等	1回	1カ所	3時間(1日)	200人	2,000~5,000円	300,000円	会員2,000円 一般5,000円
	介護職員処遇改善交付金・新要介護認定について	経営者・管理者・介護職員	淑徳大学准教授・東京都行政担当官を招いての講演	1回	1カ所	3時間(1日)	200人	2,000~5,000円	300,000円	会員2,000円 一般5,000円
	新要介護認定と介護報酬改定の問題点	経営者・管理者・介護職員	武蔵野市保健福祉部・高齢者支援課より担当官を迎え講演	1回	1カ所	3時間(1日)	100人	2,000~3,000円	150,000円	会員2,000円 一般3,000円
平成21年度介護報酬改正について 検証と今後	経営者・管理者・介護職員	介護医療ライターを招いての講演	1回	1カ所	2時間(1日)	80人	1,000~2,000円	50,000円	会員1,000円 一般2,000円	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・広告宣伝のあり方。(費用対効果)</li> <li>・外部講師をお願いする場合の謝金の額。</li> <li>・大都市以外での開催の困難さ。(集客の問題)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月末月初をはずす。(給付時期に重ならないようにする)</li> <li>・参加費をなるべく安価に。</li> <li>・交通の便の良い会場を選定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・替わりにサービスに入るスタッフを充てることができれば言うこと無しだが、現実には不可能。</li> <li>・費用の問題も無いわけではないが、要は身体が空かないことが参加できない一番の理由。</li> </ul>



# 事業者団体調査(社団法人日本介護福祉士養成施設協会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等について、その名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
(社)日本介護福祉士養成施設協会	(社)日本介護福祉士養成施設協会	介護福祉士養成施設で専任教員になろうとする者	社会福祉士介護福祉士養成施設指定規則等において介護福祉士養成施設等の専任教員になろうとする者は、介護教員講習会を修了した者と規定されているところから、これに対応するために実施するもの	2回	2カ所(各箇所1回)	1回あたり300時間(47~52日)	310人	1科目(15時間)10,000円~(13科目20万円)	20,197,310円	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。 介護教員講習会は1実施主体で基礎、専門基礎、専門各分野300時間を実施することになっているが、複数の箇所を実施しようとする場合には、どこか1箇所ですべて3分野300時間を実施すれば、他の箇所ではある分野(できれば科目)単位で開催可能となるようにすべきである。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。 基礎分野、専門基礎分野について、大学等での履修科目の認定や、放送大学での受講案内など受講者が履修しやすい体制をとるなどの配慮を行っている。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。 質問2の課題を解消することにより、参加が容易になる。
---	--	--

事業者団体調査(全国ホームヘルパー協議会)

1. 事業者団体名	2. 対象者	3. 内容	4. 開催回数	5. 開催場所	6. 開催期間(月)	7. 開催日数	8. 参加人数	9. 費用(総事業費)	10. その他	
全国ホームヘルパー協議会	スキルアップ講座	ホームヘルパー	基調報告「ホームヘルパーサービスをめぐる状況とホームヘルパー協議会の役割」 講義・演習「自立支援をめざすホームヘルパーサービスの展開」	1回	1カ所	7時間(2日)	100人	会員 5,000円 非会員 10,000円	750,000円	-
北海道ホームヘルプサービス協議会	全国ホームヘルプサービス研究大会	ホームヘルプサービス従事者	・基調講演Ⅰ「介護報酬改定に伴うホームヘルプサービスの影響と現状」 ・基調講演Ⅱ「ホームヘルプサービスに求められる経営と運営」 ・分科会1 講演・討議「認知症ケアにおけるホームヘルプサービスのあり方について」 ・分科会2 講演・討議「精神障害者におけるホームヘルプサービス」 ・分科会3 講演・討議「自立支援のためのホームヘルプサービス～ICFの視点」	1回	1カ所	4.5時間(2日)	193人	会員 3,000円 上記以外 6,000円	690,000円	-
	スキルアップ研修	ホームヘルプサービス従事者 (概ね実務経験5年未満のホームヘルパー等)	講演1「ホームヘルパーに求められる接遇・マナーと職業倫理について」 講演2・実技「介護技術の基本と予防支援について」	1回	3カ所	5時間(1日)	385人	会員 無料 上記以外 2,000円	2,420,000円	-
	上級者ステップアップ研修会の開催	ホームヘルプサービス従事者・管理者等 (概ね、実務経験5年以上のホームヘルパー及び事業管理者)	講義1「ヘルパーにおける困難事例の対応とチームケアの実際と留意点」 講義2・演習「自立支援をめざすホームヘルプサービスの展開～在宅サービス計画書の理解と訪問介護計画の作成～」 講義3「ホームヘルプサービスにおけるコーチングの活用」	1回	1カ所	6時間(1日)	245人	会員 3,000円 上記以外 6,000円	644,000円	-
山形県ホームヘルパー協議会	山形県ホームヘルパー協議会 研修会	県内ホームヘルパー、居宅介護支援事業所職員	在宅介護サービスにおけるインフルエンザ予防について ①説明…山形県のインフルエンザ予防対策指針 ②講演…具体的なインフルエンザ予防対策	1回	1カ所	3時間(1日)	44人	会員 1,000円 非会員 3,000円	56,000円	-
秋田県ホームヘルパー協議会	秋田県ホームヘルパー協議会 研修会	会員及び非会員の訪問介護事業所等役職員	講演 テーマ「介護の専門性とは何か」～ケアほどおもしろい仕事はない	1回	1カ所	2時間(1日)	86人	会員 無料 上記以外 2,000円	144,400円	-
石川県ホームヘルパー協議会	主任ホームヘルパー研修会	主任、係長クラスのホームヘルパー、サービス提供責任者	サービス提供者の役割として、相談援助技術を習得し、ホームヘルパーの指導者を養成する。	1回	1カ所	5時間(1日)	72人	0円	234,000円	-
	ブロック別研修会	現在のホームヘルパー	現場の実態に応じた、基本的な介護技術を再確認する。	2回	2カ所	6時間(2日)	78人	0円	98,000円	-
	訪問介護計画作成・展開研修会	サービス提供者、現在のホームヘルパー	ホームヘルパーが仕事を楽しむために～サービス提供責任者が一歩進んだ自らの役割を実行する～として記録の書き方など、個別に事例演習を行う	2回	2カ所	10時間(2日)	75人	0円	276,000円	-
	現任研修会	現在のホームヘルパー	医療行為におけるホームヘルパーのかかわりとして、訪問介護の基本を再確認し、生活支援のあり方について学ぶ	1回	1カ所	2時間(1日)	69人	0円	213,000円	-
愛知県ホームヘルパー連絡協議会	市町村委員研修会	愛知県ホームヘルパー連絡協議会の会員および非会員	講演「介護保険における介護報酬改定について」	1回	1カ所	2時間	80人	非会員のみ1,000円	-	-
	サービス提供責任者研修会	愛知県ホームヘルパー連絡協議会の会員のサービス提供責任者およびこれに準ずる者	講演「高齢者や家族の理解を通して考える地域ケア」	1回	1カ所	1日	94人	非会員のみ1,000円	-	-
	現任研修会	愛知県ホームヘルパー連絡協議会の会員並びに、会員所属事業所の非会員	講演1「利用者の気持ちにそった介護」 講演2「感染症予防について～新型インフルエンザを中心として」	1回	1カ所	1日	102人	非会員のみ1,000円	-	-
	スキルアップ研修会	愛知県ホームヘルパー連絡協議会の会員並びに、会員所属事業所の非会員	講演「自立支援をめざすホームヘルプサービスの展開」	1回	1カ所	1日	79人	非会員のみ1,000円	-	-
	県内ブロック別等研修会	愛知県ホームヘルパー連絡協議会の会員並びに、会員所属事業所の非会員	各ブロックでホームヘルプサービスの資質向上に関する事項でテーマを設定し、研修会を開催	12回	12カ所	12日	666人	-	-	-

事業者団体調査(全国ホームヘルパー協議会)

事業者団体	実施内容	対象者	実施内容	1回実施回数	5カ所実施回数	6時間以内(期間)	7年間参加者数	8.費用(当日)	9.費用(総事業費)	10.その他
京都府ホームヘルパー連絡協議会	平成21年度介護保険改定をうけてホームヘルパーのあり方を考える	会員	介護保険改定のポイント並びに、改定に伴い、期待されるヘルパーの役割について学ぶ	1回	1カ所	2.5時間	52人	0円	-	-
	家族介護の現場からホームヘルパーに求める支援	会員	24時間介護と向き合う家族の方から、支援にあたる際のアドバイス等お話し頂きながら、専門職として利用者だけでなく家族も支える視点を身につけます。	1回	3カ所	2.5時間	62人	0円	-	-
	利用者主体の援助に向けて記録を見つめ直す	会員	見やすい記録、相手に伝わる記録とはどういったものか、自分たちなりの記録のあり方を考える場とした。	1回	2カ所	2.5時間	59人	-	-	-
岡山県ホームヘルパー連絡協議会	在宅福祉推進セミナー	訪問介護事業所関係者等	・接遇研修 ・介護技術実習 ・感染症、医療除外行為について ・コミュニケーション技術 ・症状別に学ぶ認知症 ・サービス提供責任者の役割	6回	1カ所	6時間(1日)	500人	1,000円	400,000円	-
島根県老人福祉施設協議会ホームヘルパー部会	ホームヘルパー部会研修会	県内事業所に所属するサービス提供責任者・ヘルパー	「サービス提供責任者の役割」	1回	1カ所	5時間	-	2,000円	250,000円	-
山口県ホームヘルパー連絡協議会	訪問介護におけるケアマネジメント研修会	ホームヘルパー、社会福祉関係職員、介護保険事業施設職員等	講義、演習(事例検討) 求められるチームケア～アセスメント内容をプランに生かす～	1回	1カ所	6時間(1日)	34人	2,000円	110,000円	-
	サービス提供責任者(中級)研修会	ホームヘルパー、社会福祉関係職員、介護保険事業施設職員等	講義Ⅰ・演習「サービス提供責任者の求められる視点」 講義Ⅱ・演習「サービス提供責任者の現状」	1回	1カ所	5時間(1日)	56人	2,000円	75,000円	-
	高齢者のこころの病気と援助方法	ホームヘルパー、社会福祉関係職員、介護保険事業施設職員等	講義Ⅰ「消費者出前講座」 講義Ⅱ・演習「こころの病とその対応」	1回	1カ所	6時間(1日)	47人	2,000円	103,000円	-
	在宅における緩和ケア	ホームヘルパー、社会福祉関係職員、介護保険事業施設職員等	講義「在宅における緩和ケアについて」	1回	1カ所	3時間(1日)	46人	2,000円	60,000円	-
	リスクマネジメント研修会	ホームヘルパー、社会福祉関係職員、介護保険事業施設職員等	講義Ⅰ「訪問介護におけるリスクマネジメント」 講義Ⅱ「認知症利用者のリスクマネジメント」 演習「事故事例検討」	1回	1カ所	5時間(1日)	75人	2,000円	200,000円	-
	ブロック別研修会	ホームヘルパー、社会福祉関係職員、介護保険事業施設職員等	「記録の書き方」、「訪問看護との連携」、「介護技術実技」、「ケアマネジャーとの連携」、「治療食について」、「認知症について」等	11回	10カ所	各研修とも2時間	391人	500円	130,000円	ブロック数 6
	愛媛県ホームヘルパー協議会	平成21年度愛媛県ホームヘルパー研修会	会員及び非会員訪問介護事業所職員等)	(1)行政説明 ・平成21年度介護報酬改定等について ・介護保険法及び老人福祉法の一部を改正する法律の概要 ・訪問介護事業者への期待と課題 (2)講義「STOP THE 離職～介護現場で活かす！ストレスマネジメント」	1回	1カ所	3時間	185人	1,000円 ※非会員は10,000円	394,000円
平成21年度愛媛県ホームヘルパーテーマ別研修会		会員及び非会員訪問介護事業所職員等)	(1)講義「仕事のモチベーションアップ」 (2)グループワーク(協議・意見交換等) ・参加者全員感想(今後の心構え等目標)発表 ・参加者の悩み等の相談	1回	1カ所	4.5時間	75人	2,000円 ※非会員は10,000円	310,000円	-
平成21年度愛媛県ホームヘルパーブロック別研修会		会員及び非会員訪問介護事業所職員等)	(1)講義「職場のメンタルヘルス」 (2)演習(意見交換等)	1回	3カ所	3時間(3日)	117人	2,000円 ※非会員は10,000円	210,000円	-
福岡県ホームヘルパー連絡会	県ヘルパー連絡会テーマ別研修会	登録事業所、ホームヘルパー・サービス提供責任者	毎年必要とされる研修を計画(内容組合せもする) ・認知症 ・介護技術 ・接遇 ・ストレスケア	1回	1カ所	6時間	80人	2,000円	-	-
	県ヘルパー連絡会非常勤・登録ヘルパー研修	登録事業所、非常勤ヘルパー	必須＝リスクマネジメント、ヒヤリハット 選択＝認知症か接遇など	2回	県内5カ所	1回4時間	30人	500円	-	-

事業者団体調査(全国ホームヘルパー協議会)

実施団体	実施年度	研修会名	対象者	講義内容	開催回数	開催場所	開催時間	参加人数	費用		備考
									A. 会費 (円)	B. 費用 (円)	
熊本県ホームヘルパー協議会	平成21年度	熊本県ホームヘルパー前期研修会	(1)熊本県ホームヘルパー協議会会員 (2)県内指定訪問介護事業所所属の訪問介護員等	講義1「病気への理解を深める～糖尿病・腎臓病について～」 講義2「糖尿病・腎臓病の食事療法について」 熊本県ホームヘルパー協議会活動実績	1回	1カ所	4時間	125人	会員 2,000円 非会員 4,000円	205,000円	-
	平成21年度	熊本県ホームヘルパー後期研修会	(1)熊本県ホームヘルパー協議会会員 (2)県内指定訪問介護事業所所属の訪問介護員等	「専門職としての援助対象者との距離のとり方」	2回	2カ所	4.5時間(2日)	219人	会員 無料 上記以外 2,000円	1,230,000円	-
大分県ホームヘルパー協議会	平成21年度	ホームヘルパー全体研修会	県下ホームヘルパー	講義「力のいらない介護術」	1回	1カ所	2時間	130人	会員 0円 非会員 1,000円	240,000円	-
	平成21年度	新任ホームヘルパー研修会	勤務年数2年未満のホームヘルパー	講義・感染症及び食中毒の予防、蔓延防止 ・倫理及び法令遵守、プライバシーの保護・接遇	1回	1カ所	4時間	95人	会員 0円 非会員 2,500円	150,000円	-
	平成21年度	サービス提供責任者研修	サービス提供責任者	講義・訪問介護計画の作成方法及び記録 ・在宅における看取り介護	2回	1カ所	4時間	270人	1,000円	-	大分県社会福祉介護研修センターと共催
	平成21年度	訪問介護員現任研修会	ホームヘルパー	講義:認知症の基本的理解と生活支援の方法 実習:接触、嚥下の仕組み、食事の介助	17回	6カ所	6時間(2日)	264人	1,000円	-	大分県社会福祉介護研修センターと共催
	平成21年度	ブロック別研修	ホームヘルパー	講義:自立支援のホームヘルパー等 実習:調理実習等	7回	7カ所	4時間	250人	会員 0円 非会員 2,500円	210,000円	-
宮崎県老人福祉サービス協議会	平成21年度	在宅サービススキルアップ研修会(訪問)	訪問介護事業所のサービス提供責任者、その他希望される方	講義・演習「介護報酬改定に対応した～サービス提供責任者の役割と責務～」 1 介護職員処遇改善のための取組 2 演習:居宅サービス計画から訪問介護計画を作成してみよう	1回	1カ所	5時間(1日)	36人	5,000円	400,000円	-
	平成21年度	在宅サービススキルアップ研修会(通所)	通所介護事業所の職員、その他希望される方	講義・演習「時間をかけないテクニック 通所介護計画作成方法」 1 通所介護計画書の作成の流れ 2 時間をかけない通所介護計画書・介護予防訪問介護計画書の作成 3 支援経過記録作成のポイント 4 効果的なカンファレンス・モニタリング・評価の進め方 5 個別機能訓練計画書作成のポイント 6 介護支援専門員との連携	1回	1カ所	5時間(1日)	72人	4,000円	500,000円	-
	平成21年度	在宅サービススキルアップ研修会(居宅)	居宅介護支援事業所の職員、その他希望される方	講義・演習「『ケアプラン点検支援マニュアル』の活用法と適切なケアプラン作成のためのケアマネジメントのあり方について」	1回	1カ所	5時間(1日)	82人	3,000円	400,000円	-
	平成21年度	介護チーフ・リーダー研修会	会員施設の管理者、介護職員、看護職員、その他希望される方	講義「施設ケアにおける介護職員と看護職員の役割分担と利用者重度化への対応」 ※介護施設の現状と今後の方向性 ※施設ケアの中で活かす介護と看護の専門性と役割分担のポイント ※医療依存度の高い利用者の観察のポイントとケアの留意点 ※介護チーフ・リーダーに求められるスタッフ運営管理のあり方	1回	1カ所	5時間(1日)	83人	5,000円	500,000円	-
鹿児島県ホームヘルパー	研修会	県内各ホームヘルパー	介護に関する研修会(調理・ケアプランモニタリング等)	7回	1カ所	5時間(1日)	850人	1,000円～2,000円	1,100,000円	-	

## 事業者団体調査(全国ホームヘルパー協議会)

<b>質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。</b>	<b>質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。</b>	<b>質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 参加者の確保(参加者数が減少傾向にある。これまで業務として、あるいは休暇を取って参加していたヘルパーが、業務多忙や事業所の経費節減のために、参加できない状況が多くなっている。)</li> <li>○ 受講者の旅費負担(参加者減少と同様の理由で、事業所から費用が出せなくなっている。特に、全国・ブロック単位での研修会、北海道等圏域が広い道府県で実施する研修で影響が大きい。)</li> <li>○ 圏域が広い道県での研修について、地域をきめ細かく設定し、複数回の研修を開催する場合、開催経費、講師調整等において苦慮している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ホームヘルパーが求める内容・講師での研修実施(役員会での協議、参加者アンケートの結果を参考にした内容の設定)</li> <li>○ 適時の研修内容および情報提供を盛り込む(制度改正等)</li> <li>○ 階層別の研修設定</li> <li>○ 開催地を交通の便の良いところに設定する。道府県内で複数回数開催する。</li> <li>○ 参加費を抑える。</li> <li>○ 開催日時を多様に設定する。(開催日程に土日を含める。短時間の夜間研修など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業所の理解と支援(業務での参加の促進、自主参加の場合の参加費・交通費支援。事業所内研修の実施等)</li> <li>○ 事業所が職員を業務として派遣できる介護報酬収入の設定(勤務として派遣できる職員体制等)</li> <li>○ 専門的な研修をできるだけ細かい地域ごとに実施するための経費補助等</li> <li>○ 養成研修時からの職員の意識醸成</li> <li>○ 安価な参加費の設定</li> </ul>

# 事業者団体調査(民間事業者の質を高める一般社団法人全国介護事業者協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等について、その名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間 実施回数	5 実 施力所	6 時間 数	7 年間 受講者	8 費用 (1人当	8 費用 (総事業	9 その他
一般社団法人 「民間事業者の 質を高める」全 国介護事業者協 議会	一般社団法人 「民間事業者の 質を高める」全 国介護事業者協 議会	会員各社(経営者・管理 者)及び非会員会社	①全国研修会 講演会「介護報酬改定について」講 演会「介護とは」 ②地区研修会 全国統一テーマによる研修会の実施 ・介護保険法変更(5月1日)に伴い業務管理体制の届 けについて ・10月からの介護職員処遇改善交付金の受入れ体制 について	31回	31カ所	124時間 (31日)	2,530人	1,527円	3,864,000円	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するために どのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要 だと思いますか。
-	-	-

# 事業所団体調査(社団法人全国老人保健施設協会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等について、その名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業)	9 その他
(社)全国老人保健施設協会	職員基礎研修会	会員施設職員(実務経験2年未満)	介護老人保健施設の理念を中心に職員として必須の基礎的知識の習得を目的に実施。	4回	4カ所	10時間45分	817人	10,500円	10,212,423円	-
	中堅職員研修	会員施設職員(実務経験5年程度)	介護老人保健施設における中堅クラスの職員としてのスキルアップを目的に講義形式とグループワーク形式にて実施。	4回	4カ所	11時間45分	588人	21,000円	11,744,532円	-
	ケアマネジメント実践講座	会員施設職員	介護老人保健施設職員がケアマネジメントの一環として高齢者ケアプランの意義と役割を理解し、施設サービス計画の策定と評価に必要な視点・知識・技術の習得のために実施。	1回	1カ所	7時間15分(2日)	167人	21,000円	2,798,743円	-
	リハビリテーション研修会	会員施設職員	介護老人保健施設におけるリハビリテーションについて平成21年度介護報酬改定関係の最新情報や実務者として必要な知識を習得することを目的に実施。	1回	1カ所	10時間35分(2日)	135人	21,000円	2,408,505円	-
	施設内感染症防止対策指導者養成研修会	会員施設職員	施設内における感染症の集団発生防止について必要な知識を習得し、施設における万全な体制を整備すること等を目的に実施。	1回	1カ所	12時間5分(2日)	145人	21,000円	3,098,483円	-
	通所リハビリテーション研修会	会員施設職員	介護老人保健施設併設の通所リハビリテーションにおいて、在宅生活を支援するための役割や連携等について理解を深めるために実施。	1回	1カ所	4時間35分(1日)	289人	10,500円	1,786,347円	-
	認知症高齢者ケア研修会	会員施設職員	認知症高齢者に対するケア、リハビリテーションについて理解を深めるために実施。	1回	1カ所	9時間45分(2日)	112人	21,000円	2,484,293円	-
	平成21年4月介護報酬改定『リハビリテーション研修会』	会員施設職員	平成21年4月介護報酬改定後の介護老人保健施設のリハビリテーションについて理解を深めることを目的に実施。	1回	1カ所	5時間30分(1日)	388人	12,600円	3,109,509円	-
	第20回全国介護老人保健施設大会 新潟 高齢者ケアプラン策定実践講座	会員施設職員	ケアプランの作成・評価技術の習得のために実施。	1回	1カ所	4時間45分(1日)	182人	10,500円	-	-
	第20回全国介護老人保健施設大会 新潟 摂食・嚥下・栄養	会員施設職員	摂食・嚥下障害への対応と栄養ケア・マネジメント技術の習得のために実施。	1回	1カ所	4時間45分(1日)	179人	10,500円	-	-
	第20回全国介護老人保健施設大会 新潟 リハビリテーション	会員施設職員	介護老人保健施設のリハビリテーションについてテーマごとに学ぶために実施。	1回	1カ所	4時間40分(1日)	233人	10,500円	-	-
	第20回全国介護老人保健施設大会 新潟 現場での認知症ケア	会員施設職員	認知症高齢者がその人らしく暮らせるためのトータルケアを学ぶために実施。	1回	1カ所	4時間45分(2日)	147人	10,500円	-	-
	実地研修 Aコース(基礎実技習得コース)	会員施設職員(老健勤務1年以上の者を対象)	介護老人保健施設の理念と役割、支援相談、入所判定、ケアプラン、認知症高齢者ケア、リスクマネジメント、感染症、栄養・食事・口腔ケア等についての講義及び看介護、入浴、レクリエーション、リハビリテーション等の実技習得	83回	実地研修指定47施設にて	3日	492人	9,450円	-	-
	実地研修 Bコース(専門実技習得コース)在宅復帰・在宅支援	会員施設職員(老健勤務2年以上の者を対象)	在宅復帰・在宅支援について(実地研修指定施設にて設定)	12回	実地研修指定6施設にて	3日～5日	58人	3,150円/日	-	-
	実地研修 Bコース(専門実技習得コース)リハビリテーション	会員施設職員(老健勤務2年以上の者を対象)	リハビリテーションについて(実地研修指定施設にて設定)	22回	実地研修指定14施設にて	2日～3日	71人	3,150円/日	-	-

# 事業所団体調査(社団法人全国老人保健施設協会)

質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等について、その名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
実施主体	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業)	9 その他
(社)全国老人保健施設協会	実地研修 Bコース(専門実技習得コース) 認知症	会員施設職員(老健勤務2年以上の者を対象)	認知症について(実地研修指定施設にて設定)	12回	実地研修指定8施設にて	1日~5日	76人	3,150円/日	-	-
	実地研修 Bコース(専門実技習得コース) 摂食・嚥下(口腔ケア)	会員施設職員(老健勤務2年以上の者を対象)	摂食・嚥下(口腔ケア)について(実地研修指定施設にて認定)	6回	実地研修指定4施設にて	1日~3日	34人	3,150円/日	-	-
	実地研修 Bコース(専門実技習得コース) 栄養ケア・マネジメント	会員施設職員(老健勤務2年以上の者を対象)	栄養ケア・マネジメントについて(実地研修指定施設にて設定)	11回	実地研修指定7施設にて	2日~5日	47人	3,150円/日	-	-
	実地研修 Bコース(専門実技習得コース) リスクマネジメント	会員施設職員(老健勤務2年以上の者を対象)	リスクマネジメントについて(実地研修指定施設にて設定)	14回	実地研修指定8施設にて	1日~3日	102人	3,150円/日	-	-
	実地研修Bコース(専門実技習得コース) ユニットケア	会員施設職員(老健勤務2年以上の者を対象)	ユニットケアについて(実地研修指定施設にて設定)	5回	実地研修指定3施設にて	3日	23人	3,150円/日	-	-
	実地研修Bコース(専門実技習得コース) 相談業務	会員施設職員(老健勤務2年以上の者を対象)	相談業務について(実地研修指定施設にて設定)	3回	実地研修指定3施設にて	2日~3日	12人	3,150円	-	-
	実地研修Bコース(専門実技習得コース) 全職員による施設運営(MST活動)	会員施設職員(老健勤務2年以上の者を対象)	全職員による施設運営(MST活動)について(実地研修指定施設にて設定)	1回	実地研修指定1施設にて	2日	11人	3,150円/日	-	-
	実地研修Bコース(専門実技習得コース) 終末期ケア(ターミナルケア)	会員施設職員(老健勤務2年以上の者を対象)	終末期ケア(ターミナルケア)について(実地研修指定施設にて設定)	5回	実地研修指定2施設にて	1日~2日	28人	3,150円/日	-	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
<p>・介護事業全体の人手不足等により、施設においても人員等の理由により参加し難い状況がある。そのような状況であっても施設職員にいかに関係者に参加してもらい、サービスの質の向上に努めてもらうことができるかが課題。</p>	<p>・会員施設への一斉同報による案内後、各都道府県支部へ県内施設に対する周知を依頼している。                      ・参加者に対する事後アンケートを参考に次年度のカリキュラムの見直し、講師の選定を行いニーズに沿った内容によることを研修委員会にて検討。                      ・基幹である職員基礎研修会、中堅職員研修会は年度内に複数回、複数県にて開催し、より多くの職員が参加できるようにしている。</p>	<p>・ケアの質の向上のため、研修に参加することに対するインセンティブ                      ・限られた人員の中で運営している施設が職員に参加させるために人員の調整を行っていることに対する担保                      ・キャリア開発教育システム</p>



# 事業者団体調査(全国社会福祉施設経営者協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等について、その名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
全国社会福祉施設経営者協議会	介護保険事業経営セミナー	介護事業を実施する会 員法人の役・職員	毎年、制度改革等の動向に応じてテーマを設定。【21年度実績:3回】 ①「介護職員キャリアアップセミナー」 ～介護職員処遇改善交付金への対応と、専門性を高める人事制度の構築について～ ②「木造福祉施設セミナー」 ～建設コスト削減・工期短縮で、知己のニーズに素早く対応した施設展開へ～ ③「高齢者住宅への取組みと介護サービスの融合を考える」 ～社会福祉法人が蓄積したノウハウをもって、法改正に伴う新たな介護事業経営の展開へ～	3回	1回につき1カ所	3回合計で、13.5時間(3日)	1,342人	12,500円～15,000円	17,584,000円	-
	社会福祉法人経営者講座	役員(理事、監事等)、 施設長、事務長等	社会福祉法人経営の能力向上 これからの社会福祉法人には、地域社会との信頼関係を築き、社会・地域における福祉の発展充実に貢献することが共通課題である。 本講座は、社会・地域からの期待に応え続けられる、安定的、継続的、発展的な事業経営を可能とする能力が習得できるよう、幅広いプログラムにより構成。 ・福祉経営総論・サービス管理・財務管理・リスクマネジメント・人事管理・労務管理・事業分野別毎の経営実践事例研究(介護・障害・保育)	1回	1カ所	33時間(前期:3日、後期:3日間)	200人	85,000円	18,394,000円	-
	社会福祉法人主任/係長講座 =5～15人のグループリーダーに求められるもの=	職員(グループリーダー・主任・係長等) ※法人・施設内の5～15名程のグループやチームリーダー層を想定	①チームを効果的に統率するために必要なリーダーシップと、その実践のためのコミュニケーション方法について学ぶ ②組織のリーダー層に必要な、伝える力とマネジメント力を学ぶ ③社会福祉法人の経営環境に鑑み、取り組むべき事項や視点を理解する。 参考:平成21年度における講義 ・「これからの社会福祉法人と主任/係長職への期待」 ～諸制度の動向と、現場業務を進める際に留意すべきポイント ・成長と自立を促す対話型コミュニケーション ～先輩(上司)と後輩(部下)の関係性に豊かな価値を～ ・「組織活性化のためのチームコミュニケーション～現場リーダーに求められる新たなリーダーシップ」,「伝える力・伝わる話し方とマネジメント力」	1回	1カ所	14.5時間(2日)	250人	25,000円	6,300,000円	-
	コーチングトレーニング講座	職場における中間層(リーダー・主任・係長等)クラス	○コミュニケーション活性化による、職員満足度・サービスの質・利用者満足度の3つの向上を目的とした「コーチングのトレーニング」。 ○ほとんどの時間が実演、実習。エクササイズ・ロールプレイを通じて、コーチングを体感。	3回	1回につき1カ所	9.5時間	1回につき50人(3回150人)	28,000円	4,200,000円	-
	リスクマネジャー養成講座 (初級編および上級編)		福祉施設におけるリスクマネジメントの仕組み・体制づくりを、「利用者の安心と安全を実現する適切なサービス提供を実現することで、サービスの質を向上させ、利用者満足度をあげる取り組み」と定義し、安心・安全なサービス提供プロセスにおいて中心的な役割を担う「リスクマネジャー」を養成。 初級編と上級編を開催。	初級編1回、上級編1回	初級編1カ所、上級編1カ所	初級編37時間(前期:3日間、後期:3日間) 上級編12時間(2日間)	初級編200人、上級編80人	初級 68,000円 上級 45,000円	17,550,000円	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。 ○時勢に合ったテーマの設定 ○受講者ニーズに沿った講師の選定 ○適切な研修環境の確保 ○実施費用と参加費の設定	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。 ○介護職員に必要な時勢に合ったテーマを設定。 ○年間の研修実施日程を年度当初にまとめて提示するとともに、研修会の具体的内容を示す開催要項を開催2ヶ月前程度に公表することで、施設における勤務形態等への影響を最小限にとどめる。 ○遠方からの参加に配慮し、開催時間は午後1時、最終日の終了時間は15時に設定し、参加費が効率的な日程で参加できるよう配慮。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。 ○参加費用への補助 ○参加時の旅費、宿泊費等への補助 ○研修参加者の代替施設職員のための人件費等への補助
--	--	--

事業者団体調査(公益社団法人全国老人福祉施設協議会)

質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等について、その名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
実施主体	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	9 その他(総事業費)	
公益社団法人全国老人福祉施設協議会	平成21年度栄養ケア・マネジメント研修会	施設長、管理栄養士、介護・看護リーダー等	講義Ⅰ「平成21年度介護報酬改定を受けて」 講義Ⅱ「報酬改定に伴う栄養ケア・マネジメントの課題と対応」 講義Ⅲ「カムウェル料理で施設ケアの全てが変わる」 講義Ⅳ「口腔ケアと栄養ケア・マネジメント」 講義Ⅴ「対応困難事例のマネジメント」 講義Ⅵ「他職種共同の在り方について」	2回	2カ所	9.5時間(2日)	643人	会員 12,000円 非会員 20,000円	8,355,128円	-
	平成21年度介護職専門研修会	施設の介護職員その他	講義Ⅰ 介護学を拓く 講義Ⅱ 介護学を拓く(実践発表) 講義Ⅲ 口腔ケア 講義Ⅳ 介護職に必要な医学的知識とフィジカルアセスメント	2回	2カ所	10.5時間(2日)	679人	会員 12,000円 非会員 20,000円	8,804,045円	-
	第6期(平成21年度)介護力向上講習会	①施設として自立支援介護、個別ケアの質向上に意欲があること ②参加職員は、施設におけるリーダーの立場に就くことを期待されていること ③特別養護老人ホームの職員であること	講義:①介護の現状と今後の課題(主に施設長向け)、②身体介護・自立支援基礎理論、③パワリハビリテーションの理論と介護事例:要介護4の歩行改善、排泄自立、認知症のタイプ判定トレーニング、認知症-身体不調型、葛藤型、環境不適応型へのケアと経過、知的衰退型、遊離型、回帰型のケアと経過等	6回	1カ所	57時間(12日) ※1回あたり9.5時間(2日)	108施設 148人	年間100,000円	13,825,168円	-
	介護力向上講習会フォローアップ研修会	介護力向上研修会 第1期(平成16年度)～第6期(平成21年度)の参加経験のある北海道・東北ブロックの施設長及び職員等	I 開会挨拶 II 講師挨拶 III 実践発表 IV 意見交換・質疑応答 V まとめ	1回	1カ所	2.5時間(1日)	46人	2,000円	392,580円	-
	平成21年度認知症介護実践研修(実践リーダー研修)	介護保険法第8条第22項に規定する介護保険施設又は介護保険法第41条に規定する指定居宅サービス事業者及び介護保険法第42条の2に規定する指定地域密着サービス事業者等において介護業務に概ね5年以上従事した経験を有している者であって、実践者研修を修了し1年以上経過している者とする。	○認知症介護の理念 ○認知症介護のための組織論 ○人材育成のための技法 ○チームケアのための事例演習 ○実習課題設定	12回	12カ所	全国老協標準カリキュラム ・講義・演習 42時間(6日) ・他施設実習(3日) ・自施設実習(4週間) ・実習報告とまとめ(1日)	315人	会員 10,000円 非会員 30,000円	18,433,568円	-
	平成21年度認知症介護実践研修(実践者研修)	概ね2年程度認知症介護業務があり、現在も従事する者で、身体介護に関する基本的知識・技能を習得しており、次の①又は②の要件に該当した上で③の要件を満たす者 ①介護保険施設等に従事する介護職員等 ②認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型デイサービスの計画作成担当者 ③介護保険施設・事業所等に従事する介護・看護職員等であって、介護福祉士あるいは同等以上の能力を有する方	○認知症介護実践研修のねらい ○新しい認知症介護の理念の構築 ○研修の自己課題の設定 ○医学的理解 ○心理的理解 ○生活の捉え方 ○生活の質の保障とリスクマネジメント ○認知症の人の理解に基づく生活のアセスメント ○人的環境、住居環境を考える ○地域社会環境を考える ○生活支援の方法 ○家族の理解・高齢者との関係 ○認知症の人の権利擁護 等	3回	3カ所	・講義・演習 37.5時間(5日) ・他施設実習(1日) ・自施設実習(4週間) ・実習報告とまとめ(1日)	141人	会員 60,000円 非会員 20,000円	8,355,128円	-
	ユニットリーダー研修会	ユニットケアを実施している施設に勤務する職員 ユニットケア実施を予定している施設に勤務する職員	○ユニットケアの理念と意義 ○ユニットケア導入の過程 ○高齢者の生活とその環境 ○ユニットケアの具体的方法 ○情報の活用を職員のサポート ○ユニットケア導入・運営計画演習 等	1回	2カ所	講義・演習3日 実地・研修5日	43人	100,000円	6,218,640円	-
	介護基盤整備3年戦略セミナー	法人役員、施設長、次長、総務、会計、介護保険請求担当者、介護現場責任者	基調講演 講義Ⅰ「介護職員処遇改善交付金・施設整備助成等の解説、H21介護報酬改定の解説」 講義Ⅱ「平成21年度介護報酬改定を読み解くためのポイント」	1回	42カ所	3時間(1日)	8,380人	0円	23,933,478円	-
	通所介護サービス向上力研修会	デイサービスセンターで働くリーダー的立場の職員	講演Ⅰ 行政報告「通所介護の介護報酬改定と今後の課題」 講演Ⅱ 「研修のねらいとデイサービスの役割」 講演Ⅲ 「通所介護計画の位置づけ」 講演Ⅳ 「効果的な通所介護計画書の作成」 グループワーク I 事例検討「計画書の作成」II 「実行表の記入から評価までのプロセス」	1回	2カ所 仙台市 / 広島県	8.7時間(2日)	620人	会員 12,000円 非会員 20,000円	10,002,439円	-
	個別ケアセミナー	施設・事業所に勤務する管理者および職員等	○行政説明「個別ケアの理念と意義 尊厳ある生活を支える」 ○講演・シンポジウム「個別ケア実践に向けて」 ○グループワーク「個別ケアと施設運営」「個別ケアのハードづくり」「個別ケアのくらし」○ユニットリーダー研修会のフォローアップ	1回	1カ所 千葉県	8時間(2日)	328人	会員 12,000円 非会員 20,000円	4,303,429円	-
地域ケアセミナー	施設・事業所に勤務する管理者および職員等	講演Ⅰ「地域包括ケアの課題と在宅サービスの今後の期待」 講演Ⅱ「在宅の重度化と在宅ケアの課題」 グループワーク「地域ケアシステム」におけるデイサービスの役割、「短期入所系サービスの連携のあり方」在宅サービスを支える人材づくり	1回	1カ所 東京都	7時間(2日)	233人	会員 12,000円 非会員 20,000円	5,526,639円	-	
質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。			質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。			質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国の施設・事業所を対象に実施するため、回数、受講人数、研修手法に限界がある。</li> <li>※東西に会場を実施の場合、数百人規模になるため、グループワーク等が物理的に困難である等</li> <li>・年間を通して研修計画を作成しているが、緊急性及び必要度が高いテーマについては随時企画実施するため、受講施設の年間計画が立てにくい。</li> <li>・受講者が習得した技術や知識を自施設へ持ち帰って伝達、展開する土壌づくりが必要。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページにより広く一般への募集を行うと共に、会員施設に対しては対象となる全施設・事業所に郵送による開催要綱の送付を行うとともに、メールニュースなどで繰り返し案内を行う。</li> <li>・介護職を対象とした職種別研修のほかにも多職種が横断的に受講可能なテーマ別研修の企画、実施を拡大している。</li> <li>・研修会場を交通アクセス重視で選定するほか、開始時間、終了時間に配慮し、宿泊の必要を最小限に抑えている。</li> <li>・実施後、機関誌等により、研修内容の周知を行うと共に、参加を促す。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な研修への参加をすすめるためにも各施設の特色に合わせた人材育成のシステム及びキャリアパス構築に対する意識の向上が必須。</li> <li>・外部研修への参加の機会の拡大と併せて、施設内研修、OJT等の体制を強化することによって、より高い研修効果を得られると考えられる。</li> </ul>				

事業者団体調査(NPO法人介護人材キャリア開発機構)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等について、その名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
NPO法人介護人材キャリア開発機構	介護福祉士ファーストステップ研修	近畿老人福祉施設協議会6府県3指定都市加入施設(約1,100施設)職員	介護福祉士ファーストステップ研修「チーム連携領域」「チーム運営管理領域」	1回	1カ所	集合研修64時間(8日) 自職場課題64時間	37人 (延べ284人)	52,000円 (教材費込み)	1,190,552円	平成20年度介護福祉士ファーストステップ研修「個別ケア領域」の継続研修としての実施
	介護福祉士ファーストステップ研修 講師養成研修	近畿老人福祉施設協議会6府県3指定都市各府県市協議会推薦の講師候補者	介護福祉士ファーストステップ研修を各県で実施するために、現場の介護職を講師として養成することを目的とする。講義と演習の進め方について研修を実施し、近畿老人福祉施設協議会で20名講師を養成した。	1回	1カ所	集合研修80時間(9日) 講義・模擬演習評価指導(3日)	20人 (延べ159人)	20,000円 (一部5,000円)	ファーストステップ研修と一体的に事業実施	介護福祉士ファーストステップアップ研修(8日間)と連動して実施し研修終了後、毎回1時間の講義・演習の進め方について指導。
	介護福祉士ファーストステップ研修	青森県老人福祉施設協議会加入施設(約130施設)職員	介護福祉士ファーストステップアップ研修「個別ケア領域」「チーム連携領域」「チーム運営管理領域」	1回	1カ所	集合研修120時間(15日) 自職場課題100時間	40人 (延べ560人)	60,000円 (教材費込み)	-	青森県老協主催の研修について、当法人のカリキュラム・研修手法の提供及びスタッフ派遣による研修運営協力。

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
①経験豊かな現場の職員を講師として養成すること。 ②終日研修に適した、通いやすい会場の確保。 ③研修費の負担軽減の課題(個人参加を可能とすること。) ④全科目を通して一貫して「全人的理解」「尊厳の保持」「人間関係の構築」などのケアの理念を反映した統一性のあるカリキュラムと研修内容の維持 ⑤④のための一貫した教材の準備	①現場の勤務調整に負担のないように開催頻度を月に2日までとし、連続や集中開催を回避 ②職員の研修及び研修に係る経費(参加費、交通費)負担に対して、事業者の協力を求めている ③地域の事業者団体において共通の認定研修を設定すること、さらに、当該研修を各自治体に対して一定の制度研修として認定することを働きかけている ④参加しやすい会場の確保や中核施設の活用	①所属事業所における参加しやすい環境、勤務の調整などの理解 ②参加しやすい開催頻度や日程、研修費用に対する補助 ③介護職員のキャリアパスと必要な研修等の明示化 ④介護職員のキャリア形成にとって魅力ある演習方法や内容 ⑤介護福祉士にとって、スキルを高めることが魅力あるものとする環境整備(処遇、社会的認識など) ⑥派遣元法人に対してキャリアに応じた一定の研修派遣を法定上の義務とすること

事業者団体調査(公益社団法人日本認知症グループホーム協会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等について、その名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	9 その他	
公益社団法人日本認知症グループホーム協会	認知症介護実践研修(実践者)	介護保険施設等に従事する介護職員等であって、介護に関する基本的知識、技術を習得としており、1年以上認知症介護に従事した経験を有する者。	認知症介護に関する実践的な知識及び技術を修得するための研修。 認知症の人の尊厳ある生活を支援するために、理念に基づいた実践的な知識と技術を身につける。	3回	3カ所	講義・演習 5日 外部実習 1日 職場実習 20日 まどめのレポート提出	149人	会員 30,000円 非会員 60,000円	-	「認知症介護実践者等養成事業の実施について」及び「認知症介護実践者等養成事業の円滑な運営について」に準拠し実施
	認知症介護実践研修(リーダー研修)	介護保険施設等に従事する介護職員等であって、介護に関する基本的知識、技術を習得としており、5年以上認知症介護に従事した経験を有し、実践者研修を修了して1年以上経過している者。	認知症介護に関する実践的な知識及び技術を修得するための研修。 実践者研修で得られた知識・技術をさらに深め、介護保険施設・事業所において、ケアチームを効果的・効率的に機能させる能力を有した指導者を養成する。	1回	1カ所	講義・演習 7日 外部実習 3日 職場実習 20日 まとめ 1日	23人	会員 50,000円 非会員 90,000円	-	「認知症介護実践者等養成事業の実施について」及び「認知症介護実践者等養成事業の円滑な運営について」に準拠し実施
	認知症対応型サービス事業者管理者研修	介護保険施設等に従事する介護職員等であって、介護に関する基本的知識、技術を習得としており、3年以上認知症介護に従事した経験を有し、実践者研修を修了し、認知症対応型共同生活介護事業所、認知症対応型通所介護事業所、小規模多機能型居宅介護事業所で管理者となる者。	認知症対応型共同生活介護事業所、認知症対応型通所介護事業所、小規模多機能型居宅介護事業所を管理・運営していくために必要な知識及び技術を修得する。	3回	3カ所	講義・演習 2日	95人	会員 15,000円 非会員 50,000円	-	「認知症介護実践者等養成事業の実施について」及び「認知症介護実践者等養成事業の円滑な運営について」に準拠し実施

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
<p>認知症介護実践研修(実践者)は昨年度、32都道府県と8都市の当該研修の修了認定を受けた。会員は全国に存在するので、全ての都道府県等の修了認定を受けることが今後の課題である。認知症介護指導者の質の差が大きい。認知症介護実践研修(リーダー研修)は昨年度、25都道府県と8都市の当該研修の修了認定を受けた。会員は全国に存在するので、全ての都道府県等の修了認定を受けることが今後の課題である。認知症介護指導者の質の差が大きい。</p> <p>認知症対応型サービス事業者管理者研修は昨年度、30都道府県と9都市の当該研修の修了認定を受けた。会員は全国に存在するので、全ての都道府県等の修了認定を受けることが今後の課題である。</p>	<p>認知症介護実践研修(実践者)は、研修期間が長いこと、職場を離れる期間も長くなる。そのため、参加者、法人にとっては負担が大きい。その軽減のため、研修開催会場を考慮している。H21年度 東京2回 北海道1回 H20年度 愛媛、青森、新潟、愛知 各1回実施</p> <p>認知症介護実践研修(リーダー研修)は、研修期間が長いこと、職場を離れる期間も長くなる。そのため、参加者、法人にとっては負担が大きい。その軽減のため、研修開催会場、日程を考慮している。研修会場 北海道 1回 日程 講義・演習 7日間(一日の講義時間を長く設定した)開催地の検討、日程の検討を行っている。</p>	<p>認知症介護実践研修(実践者)は、基準省令にも定められている研修である。質問2の回答にあるように、当協会の会員は全国に存在する。そのためにも、全ての都道府県等の修了認定を受けることができればより一層、介護職員が参加するのではないかと考える。このために都道府県等への働きかけが必要である。講師の質の差を是正する必要がある。講師によって、受講した結果、自信、モチベーション等が下がる場合がある。一日のレビュー、振り返り、アンケート等の結果を可能な限り反映させるようにしている。</p> <p>認知症介護実践研修(リーダー研修)は、加算要件の対象となる研修である。質問2の回答にあるように、当協会の会員は全国に存在する。そのためにも、全ての都道府県等の修了認定を受けることができればより一層、介護職員が参加するのではないかと考える。このために都道府県等への働きかけが必要である。講師の質の差を是正する必要がある。講師によって、受講した結果、自信、モチベーション等が下がる場合がある。一日のレビュー、振り返り、アンケート等の結果を可能な限り反映させるようにしている。</p> <p>認知症対応型サービス事業者管理者研修は、加算要件の対象となる研修である。質問2の回答にあるように、当協会の会員は全国に存在する。そのためにも、全ての都道府県等の修了認定を受けることができればより一層、介護職員が参加するのではないかと考える。このために都道府県等への働きかけが必要である。</p>

事業者団体調査(市民福祉団体全国協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等について、その名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
NPO法人 市民福祉 団体全国 協議会	第14回トップマネジメントセミナー (地域福祉の再構築に向けて)	たすけあい活動NPO法人関係者、介護事業関係者など、その他どなたでも(主に会員団体のトップマネジメント)	1日目 【基調講演】地域の福祉を守る 【政策解説】「市町村地域包括ケア推進事業の実施」について <パネルディスカッション> 地域包括ケアを担うインフォーマル・サービス  2日目 【講演】「日本の社会保障制度」に関する考察	1回	1カ所	5.5時間	80人	7,000円	4,505,000円	-
	高齢者の住宅問題を考える	会員団体の職員を含めてすべて(一般参加も可)	基調講演: 高齢者の住まいに関わる関連施設の動向 パネルディスカッション: 高齢者の住宅問題を考える	1回	1カ所	2時間(1日)	70人	0円	-	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
-	保険者の見解(ケアマネジャーとのやり取りや、プランを通じて)に疑問をもっている介護職員が多数おられるので、中央官庁スタッフとの直接の意見交換の場を設定できるようにテーマを設定している。 現場では解決困難な問題に対処するための機会提供が必要と考えている。	全国各地での開催が必要だと考えるが、開催費用の捻出が困難である。参加者に東京や大阪までの旅費が提供できるか、全国各地で開催するための主催者への開催費支援があると機会を増やせる。

事業者団体調査(市民福祉団体全国協議会)

質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等について、その名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
実施主体	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
市民福祉団体全国協議会	介護保険の未来を語る	-	NPOなんでも文化祭:市民協1000万人の輪政策討論会「介護保険の未来を語る」～新政権を囲んで～石毛えい子議員・山崎康耶議員・コーディネーター:結城博運堂委員	-	-	-	78	-	-	-
	60歳からのいきいき人生!	-	「60歳からのいきいき人生!」第1部:講演「あなたの生きがいづくりへのヒント」市民協:田中尚輝 第2部:シニアのパワーを求めています!」NPOグループかけはし:田中小夜子 ~意見交換会:シニアサロン紹介~	-	-	-	70	-	-	-
	浜松の福祉を考える研修会	-	「浜松の福祉を考える研修会」①講演「地域福祉の現状と課題」浜松市福祉総務部・大田克彦・②講演「NPOと地域福祉」市民協:田中尚輝・③NPO活動報告とパネル討論:織田伸二・岸古光子・大野木里美・コーディネーター:田中尚輝	-	-	-	30	-	-	-
	宅老所分科会	-	午前:宅老所分科会①宅老所ならではのサービス②宅老所の運営について:午後:講演「尊厳ある生き方～宅老所の役割」堀田力氏+パネル討論:厚労省:浅川・西田・近藤・コーディネーター:田中尚輝	-	-	-	550	-	-	-
	介護保険の現状と今後	-	講演①「介護保険の現状と今後」厚生労働省:土生課長 講演②「大分県の介護保険の現状と今後」大分県福祉課長・③パネルディスカッション「居住施設系の運営のあり方」土生栄二・西田京子・斎藤節子・コーディネーター:田中尚輝	-	-	-	211	-	-	-
	共生協働によるコミュニティビジネスについて	-	市民協鹿児島・年次総会と市民協研修会 講演「共生協働によるコミュニティビジネスについて」田中尚輝 意見交換会	-	-	-	30	-	-	-
	介護事業の成熟をめざす挑戦者	-	介護雇用管理改善推進委託事業 「介護事業の成熟をめざす挑戦者」 第一部:基調講演:田中尚輝、第二部:シンポジウム:パネリスト(医)社団慈恵会ひもろぎグループ:千葉善弘、NPO法人かたくりの会佐藤敬子、介護員ほか。	-	-	-	120	-	-	-
	新しい公・協働を考えるNPO事業運営フォーラム	-	新しい公・協働を考える「NPO事業運営フォーラム」講演「新しい公・協働に向かって何を期待するか」栃木県民文化部:池亀寛 パネルディスカッション:池亀寛・高橋克法・前田利一・コーディネーター:田中尚輝～意見交換～	-	-	-	86	-	-	-
	地域づくり研修会「あなたはそろそろ出番です!今地域は求めている!団塊の世代のゆとりと技	-	市民協・群馬…地域づくり研修会「あなたはそろそろ出番です!」今地域は求めている! 団塊の世代のゆとりと技 ①基調講演「コミュニティカフェがおもしろい」田中尚輝、②コミカフェおしゃべり合戦 NPO法人わたらせライフ:宮地豊高、NPO法人よるずや余之助:桑原三郎、田中尚輝	-	-	-	40	-	-	-
	福祉たすけあいフォーラム「認知症高齢者への現場の介護力」	-	第8回:福祉たすけあいフォーラム「認知症高齢者への現場の介護力」①講演「認知症高齢者の介護のあり方」柳務・②問題提起「市民セクターの役割」田中尚輝・③分科会I・II・④介護保険とNPOへの期待」土生栄二	-	-	-	100	-	-	-
	より良い介護と福祉のまちづくり	-	テーマ:より良い介護と福祉のまちづくり ①講演「地域福祉とまちづくり」松浦真英 ②報告「NPOが目指す福祉のまちづくり」渡邊壽江ほか③パネル討論「サービスの質を向上させるために」・兼間道子・島津禮子・田中久江・渡邊壽江ほか・コーディネーター:田中尚輝 3/13(土)現地NPO視察研修～大崎上島の福祉施設～	-	-	-	50	-	-	-
	地域たすけあいフォーラムINみえ	-	地域たすけあいフォーラムinみえ「地域福祉の再構築にむけて」、①講演「地域包括ケアを担うインフォーマル・サービス」田中尚輝、②パネル討論「福祉有償運送のこれから」小出浩、更谷令治、真柄和也、山路秀雄、浜中佳芳子、コーディネーター:田中尚輝	-	-	-	46	-	-	-
	高齢者の在宅生活をサポートするコミュニティケアづくり	-	「高齢者の在宅生活をサポートするコミュニティケアづくり」講演「高齢者社会と住宅・コミュニティカフェ」田中尚輝、事例発表:大分県でのコミュニティカフェの実践事例の紹介、三輪 まどか氏(宮崎産業経営大学法学部講師)、地域でのふれ合いサロン活動 澤田 孝子氏(宮崎21高齢者福祉研究会 副理事長)、宅老所の実践活動	-	-	-	72	-	-	-
	コミュニティカフェが地域を支える	-	講演とシンポジウム「コミュニティカフェ」が地域を支える 講演:田中尚輝、松山市内で活躍のNPO法人こころ塾村つね氏、託老所あんき中矢 映美氏らとのディスカッション	-	-	-	110	-	-	-
福祉有償運送のネットワークを目指して	-	福祉有償運送のネットワーク化を目指して… 第一部:学習講演、「今、地域福祉の活動にもとめられていることは…」講師:田中尚輝 第二部:移動サービスの交流とネットワークづくり 1)活動報告:交流、2)ネットワークづくりのために	-	-	-	21	-	-	-	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
-	-	-